

## サハリン州韓人会

1. ロシア連邦サハリン州韓人会を紹介します。

カ) ロシア連邦サハリン州韓人会は、1990年3月28日に韓人全員の総意により召集された韓人会創立総会で創立され、ロシア連邦サハリン州の法務部に公式登録されました。

ナ) サハリン州韓人会の所在地は、郵便番号 693000 ロシア連邦サハリン州ユジノサハリンスク市ミラ通り № 83-A, Tel/Fax : (4242) 42-57-76, メールアドレス : [roosk@mail.ru](mailto:roosk@mail.ru).

タ) 韓人会の役員選挙は3年任期で、韓人会の各団体指導者らによる定期総会で選出します。

ラ) 韓人会の事業目的 :

サハリン韓人らの権益保護及び伸張と、居住国において韓人のイメージを高めることにあります。

マ) 韓人会の組織

(1) ロシア連邦と連携し、サハリン州の17地域の韓人団体が連合して組織を構成する。

(2) その組織の中には、社団法人サハリン州韓人会、サハリン州老人会、サハリン州韓人離散家族会、サハリン州韓人女性会が含まれる。

バ) サハリン文化センター

サハリン韓人文化センターが2006年度に日本政府の財政支援により、韓・ロ両国政府と赤十字社の協力で完工し、州韓人会の所有として現在運営されています。

サハリン韓人文化センターは、ユジノサハリンスク市、プロスペクトミラ 83-A に位置しており、面積は、1,937.8 平方メートルです。

サ) サハリン文化センターには、韓国を代表して韓国教育院が入居しており、ハングル教育、韓国文化芸術・伝統の継承発展のために活動しています。韓国教育院には、韓国政府から派遣された院長をはじめ、専門芸術講師や教職員が常駐し、言語教育・文化芸術を指導しています。

ア) それ以外に、老人ホームが2004年から運営されており、毎月2回ずつ老人のための食事接待をはじめとした各種慰労事業を進めています。

チャ) サハリン州の韓国語教育 :

(1) サハリン総合大学には、韓国語専攻学科が開設されています。

(2) ユジノサハリンスク市にある第9号学校では、ロシア連邦教育部の管轄下で韓国語を正規科目として教えています。

(3) 韓人が多く集住している地方では、学校毎に韓国語教室があり、希望する人は誰でも韓国語を学ぶことができます。

(4) それ以外に、ユジンサハリンスク市には、サハリン韓人が建てた《経済・情報・法律》大学があります(カン・ヨンボク総長)。この大学でも韓国語と韓国文化の伝授・発展のための努力が行なわれています。

## サハリン州韓人会 活動状況

サハリン州韓人会は、次のような事業を行なっています。

サハリン州韓人同胞は、去る第2次世界大戦が終わった後、日本政府によって凍土の島サハリンに置き去りにされた人たちです。日本は戦後、すぐに日本人だけをサハリンから日本に帰国させたが、自分たちが朝鮮から強制連行、強制募集していた韓国人とその家族は、このサハリン島に置き去りにしました。そして、サハリン同胞は半世紀以上、日本と祖国・韓国から捨てられたまま生活することとなり、韓国国籍さえ剥奪された無国籍者となりました。そして未だにサハリン韓人問題は法的にも、人道的にも解決されることなく国際的問題となっています。これによってサハリン州韓人会は、失われたサハリン韓人の歴史を回復し、現在のサハリン韓人の権益を保護し、地位を高めるために、以下の事業を行なってきました。

	事業種目	実行期間
1	居住地における韓人たちの権益保護及び地位向上、韓人社会発展のための各種事業	日常
2	韓人たちの国籍回復、永住帰国問題の解決、支援問題	日常
3	サハリン同胞支援法（特別法）の制定問題 ＜訳註：韓国における立法化＞	日常
4	対日戦後補償請求問題：未払い賃金、各種貯蓄預金、債権返還問題	日常
5	一世のための生活支援金	日常
6	サハリンに残留を希望する韓人たちのために、ウリマル（韓国語）、ウリクル（ハングル）、民族伝統文化の維持・継承・発展のための各種事業、授業、研究、講義、サークル活動、その他の支援事業	日常
7	（訳註：韓国に永住帰国した）両親の死亡時、子どもが3人まで葬式に参席できるように航空券費用の支援、先祖の墓参のための直系母国訪問費用の支援事業	年1回
8	韓国・サハリン間の文化交流の活性化のための各種事業	日常
9	2,3世の母国訪問事業の活性化	日常
10	2,3世の韓国留学奨励（国費）	日常
11	ロシア及び独立国家連合（CIS）に居住する同胞社会との連帯性強化を目的とした各種文化事業の活性化	日常
12	サハリン韓人の歴史を正しく起こす活動（歴史編纂）	日常
13	サハリン韓人の歴史保存のための歴史博物館建設	日常